



石川県立中央病院

Ishikawa Prefectural Central Hospital

初期臨床研修案内



病 院 概 要

- 名 称 石川県立中央病院
- 所 在 地 石川県金沢市鞍月東2丁目1番地
- 病 院 長 岡田 俊英
- 種 別 救急告示病院、臨床研修指定病院、へき地医療拠点病院、基幹災害拠点病院、救命救急センター、外国医師臨床修練指定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、第一種感染症指定医療機関、その他学会研修施設認定有
- 許可病床数 630床（一般）※ICU 6床、ECU 12床、HCU 16床
MFICU 6床、NICU 12床、GCU 18床
- 医 師 数 200名（常勤医師・研修医）
- 1日平均患者数（令和5年度実績）
 - ・入院 380名 ・外来 998名
 - ・救急外来 42名 ・救急車搬送 14名（うちウォークイン 28名（2名体制））
- 研修診療科目
循環器内科、脳神経内科、血液内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科・リウマチ科、総合診療科、免疫感染症科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、小児外科、小児内科、新生児科、産婦人科、精神科（県立こころの病院、金沢大学附属病院）

周術期・集中治療センター

重症患者の高度医療を効果的に行うため、特定集中治療室（ICU）、ハイケアユニット（HCU）、救急集中治療室（ECU）を手術室に近接して一体的に配置したほか、救急医療の強化のため特定集中治療室等を増床しました。血管造影装置を活用した手術が行えるハイブリッド手術室も整備しました。



特定集中治療室（ICU） ハイケアユニット（HCU） 救急集中治療室（ECU）



ハイブリッド手術室

血管造影装置を設置し、メスを入れる外科手術とカテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入して行う血管内治療の両方が行える特別な手術室を整備しました。



新生児集中治療室（NICU） 新生児治療回復室（GCU）

新生児集中治療室（NICU）で落ち着いた患者の受入体制を充実するため、新生児治療回復室（GCU）を増床しました。



MRI（3.0テスラ）

より鮮明な解像度の高い画像撮影が可能となり、正確な診断につながります。

研 修 の 特 徴



画像提供：中日本航空(株)

■救急研修の充実

救急当直では、2年次と1年次の研修医がペアを組んで、walk-in 患者全員の診察から治療までを行います。自分で考え決断する能力を鍛える、研修生活一番の修行の場になります。夜間もコンサルトできる救急医が必ず勤務しており、当直終了時には上級医から症例毎にフィードバックがあるので、バックアップの体制も整っています。三次救急医療機関としての機能を充実させるためドクターヘリを運航しており、研修を受けることにより研修医が搭乗できます。

■自由度が高い研修プログラム

1週間単位でローテートする診療科を選択することが可能で、いったん決めた後でも随時変更することができます。様々な診療科をスーパーローテートする、興味のある診療科を重点的に研修するなど「自分らしい研修」をすることができます。

■経験できる症例が豊富

初期研修の2年間で、軽症から重症まで約1,000症例を経験することができ、内科・外科に限らず、全ての科のプライマリ・ケアを学ぶことができます。

■教育熱心な先生

指導熱心な先生が各診療科にたくさんいます。研修医がやれることをどんどんやらせてくれますので、先生と相談しながら自分の力に併せて研修を進めていけます。

■研修医の仲間

研修医が1,2年次あわせて約30人います。みんなで症例について話し合ったり、切磋琢磨しながら研修できます。

<研修を行う病院・施設>

■協力病院

石川県立こころの病院（精神科）、金沢大学附属病院（精神科・選択科目）、金沢医科大学病院、国立病院機構金沢医療センター、恵寿総合病院、加賀市医療センター

■協力施設

石川県赤十字血液センター、石川県石川中央保健福祉センター

■地域医療研修病院

珠洲市総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院、公立宇出津総合病院、公立つるぎ病院

勉 強 会

■研修医による症例検討会（月1回、2年間で1人1回）

1年次の研修医が担当した教育的な症例を提示し、
研修医と指導医でディスカッションを行います。

■指導医による当直検討会（当直の翌日）

研修医が当直で経験した症例に対して指導医とディスカッションを行います。

■心エコーセミナー

検査技師に指導してもらい、研修医同士で心エコーを実際に行い理解を深めます。

■その他、研修医の要望や各科の企画による勉強会を随時行っています。

（例：HIV勉強会、薬剤説明会、合同症例検討会など）

■基本的臨床能力評価試験を全員が受験しており、全国でも上位の成績を修めています。



研 修 医 受 入 実 績

■研修医数（令和6年度）

	公 募	自治医科 大学	金沢大学 たすきがけ	合 計
1年次	14名	2名	0名	16名
2年次	13名	3名	0名	16名

■公募試験受験者数・採用者数

採用年度	受験者数	マッチ者数	定員
H25	11人	7人	7人
H26	16人	9人	9人
H27	19人	10人	10人
H28	23人	10人	10人
H29	36人	10人	10人
H30	24人	10人	10人
R1	29人	11人	11人
R2	25人	12人	12人
R3	25人	12人	12人
R4	34人	14人	14人
R5	44人	13人	13人
R6	33人	14人	14人

<研修医の主な出身大学>

金沢大学、金沢医科大学、富山大学、福井大学、大阪市立大学、岐阜大学、弘前大学、徳島大学、新潟大学、高知大学、岩手医科大学、山梨大学、大分大学、昭和大学、自治医科大学など

<研修医の主な出身県>

石川県、富山県、福井県、愛知県、秋田県、沖縄県、兵庫県、京都府、東京都、神奈川県、千葉県など



募 集 要 項

令和7年度採用

<定員・応募手続>

■募集定員 13名

■応募資格 下記の①、②の条件を全て満たす者

①令和6年実施（第119回）医師国家試験を受験する者又は医師免許を取得し、初期臨床研修を修了していない者。

②マッチングプログラムに参加する者

■試験日 【第1回】令和6年7月14日（日）

【第2回】令和6年8月25日（日）

いずれかの試験日を選択して受験

■試験内容 現地面接のみ（筆記試験・論文試験は行いません）

<身分・待遇>

■身分 石川県職員（地方公務員）

石川県会計年度任用職員（フルタイム会計年度任用職員）として採用します。

■給与 1年次：約620万円／年、約2年次：約710万円／年

※賞与・諸手当（通勤手当・時間外手当）含む

宿日直相当勤務あり（月3回）

給与等は、石川県職員の給与改定に伴い変更される場合があります。

■宿舎 自由に選択した物件を病院で借上げ、月38,000円を限度として補助
礼金及び仲介手数料も初回に限り補助（上限あり）

■休暇 年次有給休暇（1年次：10日、2年次：11日）、夏期休暇、年末年始

■その他 研修医室、院内食堂、仮眠室、セブンイレブン、ドトールコーヒーあり

院内規定による学会・研修等の出張補助あり（2回以上可）

メディカルオンライン、UpToDate、医中誌等使用可

専門研修プログラムについて

当院では、初期臨床研修修了後の進路として、以下の領域で専門研修プログラムを準備しています。

①救急科 ②産婦人科 ③内科 ④総合診療 ⑤病理 ⑥整形外科 ⑦外科

■募集定員 各科とも若干名

■試験内容 面接

■身分 石川県職員（地方公務員）石川県会計年度任用職員（フルタイム会計年度任用職員）として採用します。

■給与 卒後3年目：約950万円／年、4年目：約1,030万円／年、5年目：約1,060万円／年 ※賞与等含む

■休暇 年次有給休暇、夏期休暇、年末年始

研 修 医 メ ッ セ ー ジ

① 上木 大雅（2年次）

当院で研修して1年ほど経過しましたが、北陸で初期研修をするなら石川県立中央病院が一番だと思っています。それは恵まれた環境があり充実しているからです。

当院には研修医室が備えられており、1年目研修医16人、2年目研修医16人の計32人で研修を行っています。研修医同士で交流する機会が多く、同期や先輩・後輩が心の支えになるだけでなく、診療で疑問に思ったことを議論したり、互いに経験したことを教えあい切磋琢磨する日々を過ごしています。

研修医の人数が多いと手技や症例の奪い合いになるのではないかと疑問を持っているあなた。安心して下さい。基本的に各診療科へ同期間にローテする人数は1~2人程度で、チャンスを逃すことは少ないです。またスーパーローテーション方式で自分の意思通りに研修する診療科を選択できます。好奇心旺盛な研修医にとって、3年目以降の進路に合わせ興味ある分野や、進路として迷っている分野を調整できるのは非常に魅力的です。万が一手技や症例に恵まれないことがあっても再度その診療科をローテすれば万事解決です。2年目になると多くの研修医が必修科目を終えているため、自分の志望科を中心にローテーション表を作成できます。

各科の指導医は教育的な先生方に溢れており、多くの医学的なことの他、人生に関しても役立つ情報をくださるだけでなく、時には上司と部下、時には兄弟や親子の様に接して下さいます。病棟や外来、検査室、放射線室との関わりも多く、沢山の医療スタッフと人脈も作れます。人間関係においてはアットホームな病院と感じています。

最後はなんといっても救急科当直です。初診の救急患者を診察するだけの様にも思えますが、緊急度の高い症例から珍しい症例など幅広い経験ができる上、外来でのコミュニケーション方法、正しい検査手技や医学的思考力、プレゼン力などを無駄なく鍛錬できる最高の場です。もちろん上級医からのフィードバックの時間もあり日々成長を実感できると思います。

国家試験の勉強で日々大変な思いをしているかもしれませんが、たまには卒業後に自分が医師として働く姿を想像してみてください。皆さんはまだ白地のキャンパスでこれから努力次第で何色にも染まれます。ぜひその一筆目を石川県立中央病院から始めてみませんか。

② 篁 和哉（2年次）

こんにちは。今回は私が実際に1年間、当院で初期研修をして特に魅力を感じたところを3つほど紹介します。

1つ目はほぼすべての診療科が揃っており、どの科の先生方も非常に熱心に指導して下さるので、興味のあるどの科でも充実した研修をすることができる点です。私自身も、研修した科はどれも魅力的で、自分の視野を広げることができたと感じています。

2つ目は研修医の多さです。1年目16人、2年目16人の計32人の初期研修医が勤めており、石川県内ではトップクラスの人数かと思います。お互いに学びを共有し、時には同じ診療科ローテで切磋琢磨して楽しみながら研修することができます。大変なときに話をできる同期や先輩医師の存在は本当に心の支えになります。また、プライベートでも旅行やご飯に行くほど仲を深められ、休日などの日常生活においても充実します。

3つ目は経験できる症例の数と質です。石川の中心を担う総合病院だけあって、多くの症例が集まり、それらを教育熱心な指導医の先生と一緒に診ていくことで得られる学びはとても大きいです。研修医の数以上に症例数が多いので、皆が等しく経験を積むことができます。当院では研修医に救急外来の当直を診させてもらえるので、その中で様々なケースへの対応を身につける事もできます。もちろん、救急科の先生にいつでもコンサルできる環境が整っているので、安心して診療に臨むことができます。

以上、ほんの一部分の魅力に過ぎませんが、少しでも当院の良さを感じていただけたら幸いです。是非、一度見学に来て下さい。皆さんとお話できることを楽しみにしております。

病 院 見 学 の ご 案 内

石川県立中央病院では随時、病院見学を受け付けております。少しでも当院に興味をお持ちの方は是非一度見学にお越しください。

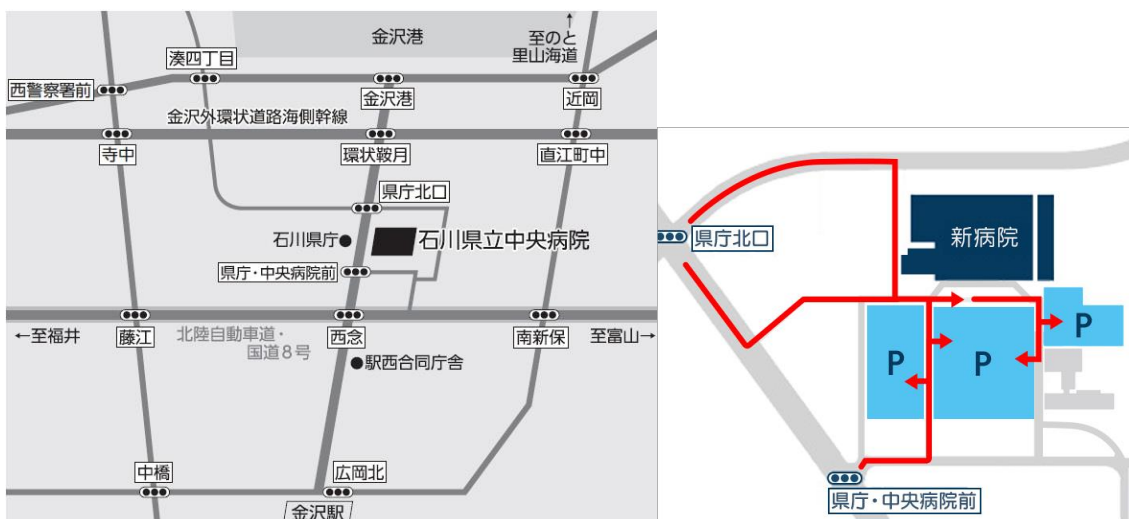
〈見学の申込み方法〉

見学を希望される方は、HP をご覧いただき、syokuin@ipch.jp にメールを送ってください。日程を調整した上で、折り返しお返事を差し上げます。

メールに記載していただく内容

- 件名 「病院見学—所属学校名又は病院名—氏名」とお書きください。
【例】（医学生の場合） 病院見学—石川大学—石川太郎
（初期臨床研修医の場合） 病院見学—石川病院—石川花子
- 添付 申込書を添付してください。（現地見学用、WEB用があります。）

<https://kenchu.ipch.jp/kensyu/info/>



■アクセス

バス・電車ご利用の方

- ▶ 金沢駅金沢港口バス停留所「6」番のりばから北鉄バス「中央病院」行きで約10分
- ※ 「県庁前」行き、「工業試験場」行きにも中央病院を経由する便があります。
- ▶ 金沢駅金沢港口バス停留所「6」番のりばから北鉄バス「県庁前」行きで約10分、県庁前から徒歩で約5分

マイカーご利用の方

- ▶ 金沢駅金沢港口から約5分
- ▶ 北陸自動車道「金沢西インター」または「金沢東インター」から国道8号経由で約10分



石川県立中央病院
Ishikawa Prefectural Central Hospital

〒920-8530 石川県金沢市鞍月東2丁目1番地

TEL : 076-237-8211 (代) FAX : 076-238-5366 (総務) /076-238-2337 (医局)